

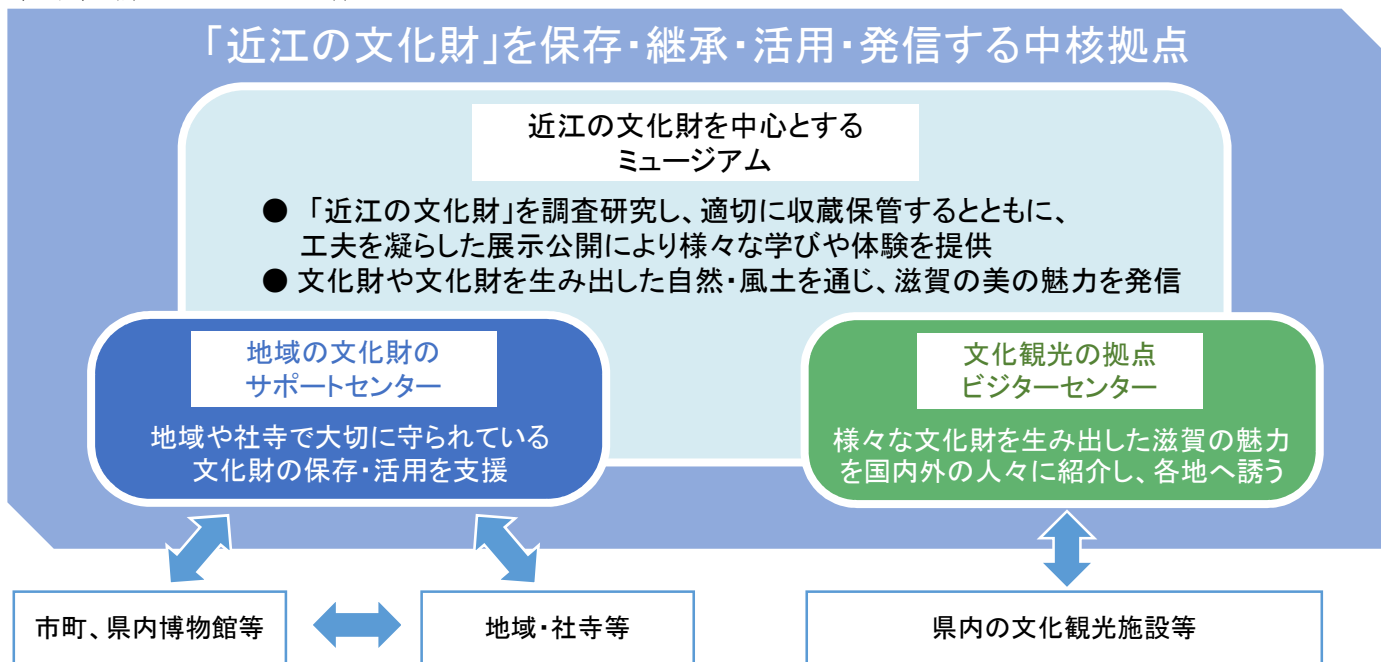
# (仮称) 新・琵琶湖文化館基本計画

概要

## (仮称) 新・琵琶湖文化館の役割と目指す姿

### 近江の文化財で “つなぐ” “ひらく” 未来の滋賀

(仮称) 新・琵琶湖文化館の施設像



## 整備計画

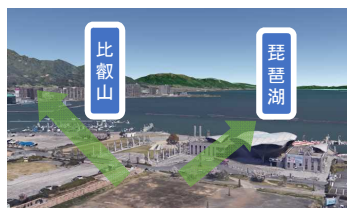
【開館予定】令和9年度(2027年度)

### 整備予定地：大津市浜大津

大津港港湾業務用地(県有地)および隣接する大津市有地 計約8,000㎡のうち約3,000㎡



整備予定地(※地理院地図(国土地理院)を利用)



滋賀県を代表する風景である、琵琶湖や比叡山を望むロケーション



※社寺の写真:(公社)びわこビジターズビューロー

# (仮称) 新・琵琶湖文化館における活動

	県内歴史文化系博物館の核となる役割	誰もが利用しやすい工夫	コロナ後の社会を見据えた博物館
活動の5本の柱	①収集・保管	「近江の文化財」を収集するとともに、危機にある地域の文化財のセーフティーネットとしての役割を果たし、未来へと確実に継承する	
	②展示	「近江の文化財」の魅力や価値を、県民や国内外の幅広い人々に正しく伝えることで地域の誇りを醸成し、文化財の保存と活用の好循環を創出する	
	③調査・研究	「近江の文化財」を調査・研究し、その魅力や価値を明らかにし、成果を地域社会に広く還元する	
	④情報発信・交流	「近江の文化財」やそれらを生み出した滋賀の情報を収集・発信し、県内各地へ誘うとともに、交流を活性化	
	⑤地域の文化財の保存・活用支援	市町等と連携して、地域で大切にされてきた「近江の文化財」の保存・活用を支援するなど、県文化財保護行政の一翼を担う	

## スケジュール

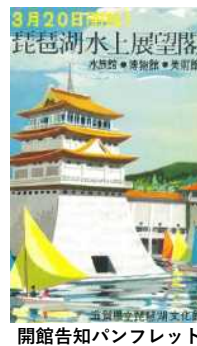
	R2 (2020)				R3 (2021)				R4 (2022)				R5 (2023)				R6 (2024)				R7 (2025)				R8 (2026)				R9 (2027)																							
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q																				
基本計画策定	→																																																			
PFI導入検討	簡易検討 →				詳細検討 →																																															
PFI手法	PFI事業者の選定・契約 →				設計・工事(一括) →								開館準備 →																																							

## 計画策定の経緯と背景

### 琵琶湖文化館について

- 昭和36年(1961年)開館
- 多くの個人、団体から寄付をいただくなど、県民や県にゆかりのある方の篤い志により建設(※建設費1億5,000万円のうち、9,000万円が寄付)
- 国宝2件(17点)、重要文化財52件(90点)をはじめとする貴重な収蔵品
- 平成20年(2008年)から休館中。休館後も、収蔵品の保管、他館での展覧会活動、文化財講座、情報発信等の活動を継続

### 多くの人の思いが込められた文化館



### 休館中の活動

